高校生による
「振り込め詐欺等防止啓発活動」について

平成 28 年度実践校　埼玉県立越谷総合技術高等学校

目次

活動の趣旨・目的 4

学校概要 5

実施スケジュール 5

実施概要 7

＊４月

■ 春休み課題「振り込め詐欺に関する調べ学習」 7

■「振り込め詐欺防止啓発活動」に関する調べ学習の実施 9

＊５月

■ 振り込め詐欺等の手口とその対策についての講話 10

■ 話し合い 啓発グッズ案、文化祭の発表内容について 11

＊６月

■ 話し合い 啓発グッズの作成、文化祭での発表について 12

＊７月

■ 振り込め詐欺の現状・防止策についての講話 13

■ 作業 文化祭掲示物の下書き・パワーポイントスライドの内容決め 15

■ 映像「オレオレ詐欺」を題材にした演劇の撮影 16

＊10 月

■活動発表 文化祭「越総祭」での掲示物の展示 18

＊11 月

■ 活動発表 埼玉県産業教育フェアでの展示・啓発グッズの配布 18

■ 活動発表 出羽ふれあいフレンドパークでの展示・啓発グッズ配布・啓発教室の開催 19

＊12 月

■ 越谷駅周辺での振り込み詐欺防止啓発グッズの配布活動 20

■ 越谷駅周辺の銀行店舗への振り込め詐欺防止啓発グッズの掲示依頼 21

■ 全校集会における活動報告、DVD の放映および越谷警察署からの表彰.....22
＊１月～３月
■ 学校家庭クラブでのアンケート集計.....23
■１年間のまとめ.....24

活動の趣旨・目的

本取組みは、学校家庭クラブ等の枠組みを活用して、生徒自身が振り込め詐欺等の被害が身近なところで起きている問題であることと捉え、その防止策等について理解し、生徒自身が考えた「振り込め詐欺等防止啓発活動」を地元地域で実践することで、生徒による社会貢献活動、ひいては地域における「振り込め詐欺等防止啓発活動」の自立的な広がりを期待したものである。全銀協は本取組みに関して、支援金の拠出や、活動に当たっての各種アドバイスや資料提供などのサポートを行うこととしている。

本取組みは、①「消費者教育に関する基本的な方針」（平成 25 年６月閣議決定）において、金融経済教育と連携した消費者教育を推進することが重要であることが示されたこと、②学校教育においてアクティブラーニング（課題の発見と解決に向けて主体的・協働的に学ぶ学習）の重要性が高まっていること、③全銀協有識者懇談会（平成 27 年２月開催）において、学校家庭クラブの活用、特殊詐欺防止をテーマとした生徒による教材制作について提言があったことなどを踏まえ、28 年度より試験的に導入したものであり、以下のような効果を期待している。

〇対象層数の拡大…金融経済教育に取り組む学校・教員・生徒数の増加
〇教育現場との連携強化…教育委員会・家庭科教員との新たなパイプ作り
〇アクティブラーニングの実践…高校生が主体的・協働的に学ぶ学習機会の提供
〇金融犯罪防止啓発活動の効果…高校生が考える防止啓発活動の実践
〇対外ＰＲ力の向上…高校生による活動報告公表による広告効果

初年度となる平成 28 年度は、埼玉県教育委員会下で実施校を募集し、埼玉県立越谷総合技術高等学校に「振り込め詐欺等防止啓発活動実施校」を委嘱した。

※リリース（全国銀行協会 HP）
http://www.zenginkyo.or.jp/abstract/news/detail/nid/6339/

学校概要

■沿革

昭和 61 年専門学科の総合技術高校として開校

工業系（電子機械科・情報技術科）、商業系（流通経済科・情報処理科）、

家庭系（服飾デザイン科・食物調理科）の6学科で構成

■教育目標

社会及び企業が求める産業人材の育成

実施スケジュール

3月	• 1年次終了時に、2年次の学習の一つとして「特殊詐欺」について扱うことが生徒に告知され、春休みに「特殊詐欺について」レポート提出課題を行う
4月	• 各生徒が特殊詐欺についてレポートを提出 • さらに現状行われている特殊詐欺の防止啓発活動について調べ、レポート作成を行う
5月	• 話し合い（開催は不定期）により、啓発グッズ、掲示物などを決定していく • 講義「振り込め詐欺の手口とその対策」を実施（一般社団法人全国銀行協会）
6月	• 啓発グッズ・文化祭に向けた話し合い
7月	• 啓発グッズ・掲示物の制作・作業を随時行っていく（主に放課後を活用） キーホルダー・・・電子機械科がアクリル板を切り出し、キーホルダー本体の作成を行う。（2,000 個を作成） 服飾デザイン科等・・・ステッカーのデザインを行う。（1万枚を作成） • 2年7組が各班に分かれ、模造紙による掲示物、パワーポイントを使ったスライド、演劇のシナリオなどを作成していく • 講話「振り込め詐欺の現状・防止策について」を開催（越谷警察署生活安全課） • 振り込め詐欺をテーマにした演劇の収録（演劇部・放映部）
8月	• キーホルダー制作（シール貼り）

	• 模造紙を使った掲示物・パワーポイントスライドの作成
９月	• 各クラスの家庭クラブを通じて、標語の募集を行う。21 クラスから集まり2年7組で標語の選定を行う • マスコットキャラクターの作成（服飾デザイン科）
10 月	• 文化祭「越総祭」（掲示物の展示） • のぼり旗のデザイン・発注（11 本作成）
11 月	• 埼玉県産業教育フェア（掲示物の展示・啓発グッズの配布） • 出羽ふれあいフレンドパーク（掲示物展示・演劇動画の放映・啓発グッズ配布）
12 月	• 越谷駅での啓発グッズの配布 • 越谷周辺の銀行への配布 • 終業式での DVD の放映、各生徒にステッカーを 2 枚配布。冬休みに祖父母等に渡して振り込め詐欺の予防を啓発し、理解度アンケートを実施する。
1月～ 3月	• 家庭クラブがアンケートを集計 • 1年間のまとめ

実施概要

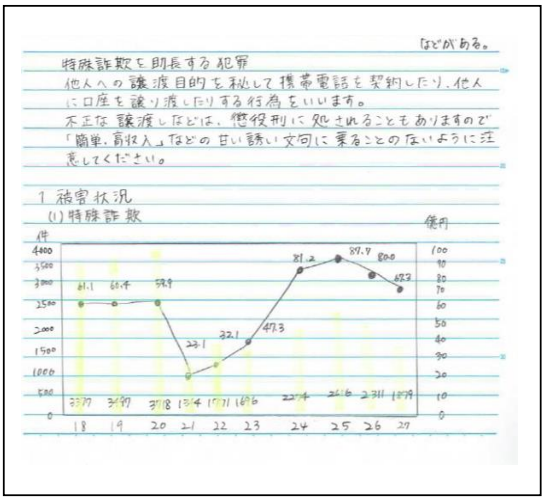
今回の活動は、家庭クラブに所属する2年7組の2名の生徒が中心となり、実施した。話し合いは必要に応じて開かれ、家庭クラブを通じて全クラスへ共有された。

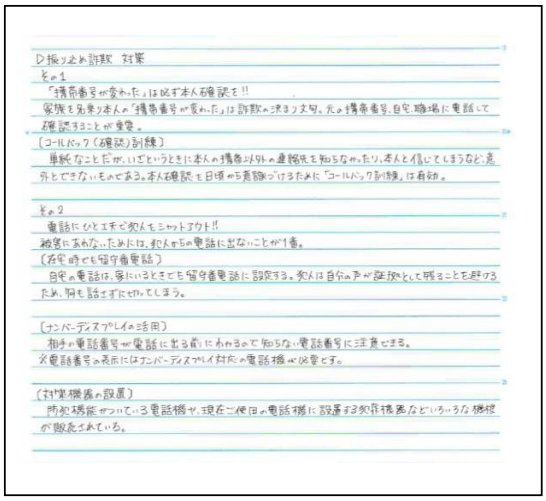
3月～4月課題学習

■ 春休み課題「振り込め詐欺に関する調べ学習」

平成 28 年度より「振り込め詐欺等防止啓発活動」を始めるにあたり、この活動に取り組むことになる生徒達に、春休み中の宿題として「振り込め詐欺」について調べてレポートを作成する、という課題が出された。生徒たちは、それぞれに取材・調査を行い、「振り込め詐欺の定義や、振り込め詐欺にはどのような種類があるのか、被害の実態、予防・対応策などをレポートにまとめた。

※レポート内容（一部）





※レポートを作成した感想（抜粋）

- 今回、振り込め詐欺について調べ、ニュースなどで振り込め詐欺についてやっているのに、こんなにも被害があると知 っ て驚きました。一人暮らしをしている方などは、自分の子どもにう機会が少ないから信じてしまい、振込んでしまうのかなと思 い ました。そういう点で、家族との関わりはとても大事だなと思いました。また、最近は新しい詐欺の手口も出てきていると知りました。前までの知識では対応できないことも増えてくるのでは

ないかと思います。そうすると、被害に遭う方が増えてしまうのではと不安に思いました。被害を増やさないために、今回調べたことをもとに、活動できたらいいなと思います。

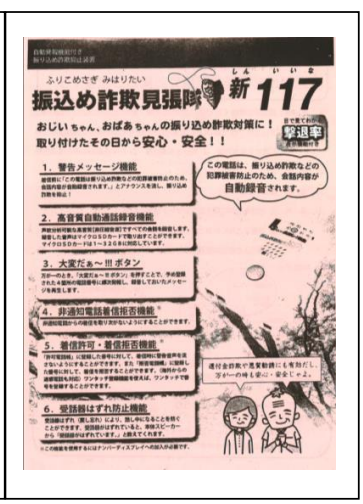
- 今回、春休みの宿題で詐欺のことを調べて、たくさんの詐欺の種類や対策を知りました。なので、家族や周りの人などにも教えて、少しでも詐欺の被害が減らせるといいです。また、今年は警察の方と詐欺対策に何かするらしいので、今のうちから良いアイデアを考えたいと思います。人からお金を騙し取ることは許せないので、今年は去年より被害が減るといいです。

- 今回、このレポートを作成するにあたって、振り込め詐欺について様々なことを知ることができました。まず最初に、私が住んでいる埼玉県は振り込め詐欺の被害にこんなにも遭いやすいということに、衝撃を受けました。以前から、振り込め詐欺についてはニュース番組や新聞で知っている部分もありましたが「自分には関係ないや」と思っていたため、ここまで関心を持って調べたりすることはありませんでした。でも、この機会に自分の住んでいる街がこんなに被害に遭っていることを知って、危機感を持つこと ができ、良かったと思います。次に、埼玉県は方言というものはありませんが、それが詐欺組織にとって大きなメリットになっていることを知り、驚いたし、少し納得してしまいました。方言がきつい鹿児島県などは、被害件数もとても少なかったので、方言は振り込め詐欺の予防に役に立つということが分かりました。方言がないことをとても残念に思ってしまいました。最後に、詐欺の被害に遭いやすいのは「高齢者」ということは知っていましたが、中でも「女性」ということを初めて知りました。女性の方が、子どもを心配する気持ちが強かったり、買い物が好きだったりすることが､詐欺に引っかかってしまう原因の１つであるのかなと思いました。このレポート作成を通して、詐欺について多くのことを知ることができたので、この経験を生かして、振り込め詐欺を少しでも予防できるようにがんばりたいです。

4月　課題学習

■「振り込め詐欺防止啓発活動」に関する調べ学習の実施

振り込め詐欺について、自分たちなりに知った生徒たちに、次は、防止啓発活動について調べるよう課題が出された。どのような場所でどのような方法の啓発活動が行われているのか、今後の活動に直接的に関係してくる学習となった。



※レポートを作成した感想

- 全体的に見て、ポスターは見やすい位置に貼られていることが分かりました。リーフレット（パンフレット）は、なかなか手に取られる方はいらっしゃらないのかなと思います。置いてあるだけや、ブックスタンドのようなものに立てかけてあるだけなど、手に取るものは自分たちで活動するにあ

たって考えてから実行しなければならない課題だと思います。 普段、気にして見ていなかったので、「こんなところに！？」という発見を多くしました。

2016 年5月7日（土）12:00～12:50 埼玉県立越谷総合技術高等学校

■ 振り込め詐欺等の手口とその対策についての講話
一般社団法人全国銀行協会

この日は、振り込め詐欺等の特殊詐欺について理解を深めてもらうため、「振り込め詐欺等の手口とその対策」について、全銀協の職員による講義を実施した。

高齢者等を狙った振り込め詐欺の手口（オレオレ詐欺、還付金詐欺、金融商品等取引名目詐欺、架空請求詐欺等）について、演劇の形式で手口を再現した動画を見て具体的にイメージしたうえで、手口の特徴や誘い文句、埼玉県内で実際に発生した事例、被害に遭わないためのポイントについて、手口ごとに解説があった。

特に、被害が絶えないオレオレ詐欺については、以下のような特徴があり、手口が非常に巧妙であることが伝えられた。

・犯人は実際の息子や孫などの名前をかたって高齢者の家に電話を架けてくることが確認されており、事前に電話帳や学校の卒業生名簿などで名前、住所、職業や生年月日等の個人情報を入手している可能性が高い。

・あらかじめ「携帯電話の番号が変わった」「会社の携帯電話番号だから登録しておいて」などの電話があり、周到に準備したうえで、次回架けたときに息子や孫からの電話だと信用させ、本当の息子や孫などと連絡を取らせない。

・「小切手等が入った鞄を（電車などに）置き忘れた」「会社の金を横領してしまった」「借金の返済が必要」などを口実にお金を要求し、「今日中にお金が必要」、「急いで銀行へ行ってほしい」、などと言って慌てさせ、緊張感やストレスを与え、冷静さを失わせる。

そのうえで、被害に遭わないためには、以下のような事項を心掛けることが大切であることが伝えられた。

・ 固定電話は留守番電話に設定しておく

・ 心当たりのない電話番号からの電話には出ない
・ 息子（や孫）の元の携帯電話番号にかけ直す
・ 必ず家族や友人など周囲の人に相談する
・ 知らない人（受け子）には現金を渡さない

その後、全国および埼玉県内の特殊詐欺の発生状況、被害者はどのように犯人にお金を渡したのか等を各種統計で確認し、最後に実際に銀行の店舗等に設置されているポスターや啓発グッズを見せながら、警察や銀行が実施している特殊詐欺の未然防止の活動（窓口・ATMコーナー等での声掛けの徹底、ATMコーナーでの携帯電話通話自粛の呼びかけ、ATM利用限度額引き下げの奨励、不審な口座開設の排除・口座売買の防止等）を紹介した。

講義後には、「振り込め詐欺の犯人はどういう人なのか」「さまざまな対策をしても振り込め詐欺が増加しているのはどうしてか」など、質問も多く出て、生徒たちが振り込め詐欺等の問題について意欲をもって学習している様子が伺えた。

2016 年 5 月 26 日（木）12:30～13:30　埼玉県立越谷総合技術高等学校

■ 話し合い 啓発グッズ案、文化祭の発表内容について

○ 啓発グッズの作成

この日の話し合いでは、マスコットキャラクターのモチーフと啓発グッズのステッカーの仕様について検討した。

まず、マスコットキャラクターについては、「振り込め詐欺からさまざまな言葉を連想し、それに当てはまる動物を考えることにした。「悪人」「うたがう」などのイメージから「狼とひつじ」「ネコ」「きつね」「しらさぎ」など、さまざまなアイディアが出る中、話し合って「たぬき」に決定した。

次に、ステッカーの形や大きさについて検討した。「ステッカーを目につくところに貼ってもらうためにはどうしたらよいか」、「振り込め詐欺等の被害が多いお年寄りでも見やすい大きさはどのくらいか」など、全銀協職員のアドバイスを受けながら検討した結果、直径5cm の丸型に決定した。

今後の予定として、服飾デザイン科の生徒に、ステッカーの仕様を伝え、デザイン作成を進めること、デザインされたものと合わせ、印刷業者に見積もりを取り、ステッカ

一制作を進めていくことを確認した。

○ 今後の作業について

今後の作業を進めるにあたって役割分担を決定。

- 映像資料に収録する演劇のシナリオ作成と撮影を調整する係
- 掲示物を作成するにあたり、模造紙の全体構成を考える係と掲載する内容をまとめる係
- 掲示物の内容を映像に収録するためにパワーポイントにまとめる係
- 会計

2016 年 6 月 7 日(火)13:00～14:00　埼玉県立越谷総合技術高等学校

■ 話し合い 啓発グッズの作成、文化祭での発表について

この日の話し合いでは、各グループの掲示物(模造紙)にまとめる内容について、啓発グッズのキーホルダーをどのような方法で配布するかが検討された。

まず、掲示物の内容については、これまでに取り組んだ課題や5月に受講した全銀協職員の講義を踏まえ、(1)だまされやすい人の特徴・犯人の特徴、(2)振り込め詐欺の手口の種類、(3)発生状況・データ、(4)被害にあわないための対策と対策をしているのに被害が減らない原因、(5)子どもが加害者になるケースの5点として、各グループでまとめて模造紙に記載していくことに決定した。

キーホルダーの配布方法については、振り込め詐欺の被害が増えてくる 65 歳以上の方や一人暮らしのお年寄り、お年寄りとのコミュニケーション機会が多いと思われる小学生以下の子どもに配布することに決めた。また、振り込め詐欺クイズを作成し、

不正解だった人にもより意識をもって知識を深めてもらうために配布することにし、これに伴い、クイズを考える係も決めた。

その後、テーマを各班に振り分け、必要な情報は何かを話し合い、次回、各班でまとめた内容を発表することにした。

2016 年 7 月 14 日 14:45～　埼玉県立越谷総合技術高等学校

■ 振り込め詐欺の現状・防止策についての講話
越谷警察署　生活安全課

「振り込め詐欺等防止啓発活動」の一環として、県内の振り込め詐欺の状況を知るために、越谷警察署　生活安全課の警察官から話を伺った。

はじめに、2015 年に埼玉県内で発生した詐欺被害額を確認した。講師から被害金額が 30 億 8 千万円と伝えられ、生徒たちは金額の大きさに驚いている様子がうかがえた。また、越谷市だけの被害件数は 58 件で1人当たりの被害額は約 400 万円になることが伝えられた。

高齢者中心に被害が発生している詐欺として、オレオレ詐欺、還付金詐欺について説明があった。また、若い年齢層にも被害者が出ている詐欺として、架空請求詐欺についても説明があり、プリペード型電子マネー（アマゾンギフト券等）の ID 番号を撮影した写真を送るよう要求され、請求の額面分の電子マネーを騙し取られるという被害が紹介された。警察では、コンビニエンスストアなどプリペード型電子マネーを販売し

ている店舗と協力して、高額な金額のカードを購入する人には使い道を聞くなど声かけしてもらうとともに、怪しいと感じた場合は警察に通報してもらうよう依頼している、という話があった。

オレオレ詐欺は、1回目の電話は「予兆電話」と呼ばれ、お金を騙し取る目的ではなく、「風邪をひいた」など普段と違う声であることの理由付けの電話、次に「携帯電話の番号が変わった」など知らない電話番号から電話をかけていることの理由付け、そして3度目の電話で「カバンをなくした」などお金を騙し取るための作戦を仕掛けてくるという特徴があるとのことであった。

生徒たちは、実際に現場でどのようなことが起きているのか真剣にメモを取りながら講師の話に耳を傾けていた。

その後、質疑応答の時間では、「越谷で起きた詐欺事件の犯人は捕まっていますか」という質問に対して、「受け子」や「出し子」と言われる役割の犯人は検挙しているが、本犯（詐欺を企てている犯人）は検挙できていないという回答があった。

ここで、先日越谷警察署で検挙した「受け子」について話があった。関西方面の職業安定所にいるところをスカウトされ、越谷に連れて来られたとのことで、服装が体型に合っておらず、いかにも「着せられている」様子で見た目に違和感があったとのこと。また、受け子や出し子には若年齢層が多いため、社会人に見えるようスーツを着て銀行員を装っていても、服装との違和感から怪しいと気づかれ詐欺を未然に防ぐことができた事例もあるとのことであった。

このように、若者が詐欺犯罪に巻き込まれている現実を知り、生徒たちは自分たちも加害者になる可能性があることに気付いた様子であった。

「警察ではどのような対策を行っていますか」という質問に対しては、未然防止策として、銀行と協力して、高額の振込みや引き出しをするお年寄りに声をかけ、お金の用途を確認することで詐欺被害を防いだり、コンビニエンスストアや ATM が設置されている店舗にチラシ配布したりして、啓発活動をしているという回答があった。実際のチラシが生徒たちにも配られ、振り込め詐欺犯から電話がかかってきた一般の方に協力をしてもらい「騙されたフリ作戦」によって検挙につなげている例が紹介された。さらに、「予兆電話」が多くかかってきた市町村への張り込みも行なっているとのことであった。

また、お年寄りが家族と同居している場合は被害が少ない、という話があった。日頃から近況を報告し合い、コミュニケーションを取っておくことで被害が防げることもあるため、離れて暮らす祖父母がいたら日常的に連絡を取り合うことが重要であると伝え

られた。

最後に、振り込め詐欺等防止啓発活動の発表に向けて、警察として呼びかけて欲しいことやグッズを作る際に気をつけて欲しいことなど、今後の取り組みへのアドバイスを受けた。

- 自宅の電話機能を確認してもらう
  ナンバーディスプレイや留守番電話機能などを使うことで、オレオレ詐欺犯との接触を防ぐことができる。
- 家族との合言葉を決めておいてもらう
  電話ではまず近況報告をするなど、家族しかわからない話をすることで、犯人は家族でないことがバレることを恐れて電話を切ってしまう。
- 名義貸し詐欺という詐欺もある
  名義を貸すという違法な行為を促し、裁判の弁護士費用を要求する詐欺の事例がある。いろいろな方法で詐欺が行われていることを伝えてほしい。
- 啓蒙品で伝える場合には、形に残るものを制作して欲しい
  （ティッシュなど消耗品は使うと無くなってしまうため）できれば電話の近くに置けるものが良い。
- チラシなどを配布する場合は、文字が多いと読んでもらえないので、簡潔で分かりやすい内容が良い。

■ 作業　文化祭掲示物の下書き・パワーポイントスライドの内容決め

講話の後は、掲示物作成を進めた。今回の講話の内容も踏まえて、模造紙の下書

きを仕上げた。清書係りが作業しやすいように、まとめ方を工夫するよう指示があった。パワーポイント係は各班の様子を見ながら、どの内容をパワーポイントに入れるかを話し合った。

※その他の進行状況

○ 啓発グッズ

キーホルダー・・・アクリル板をキーホルダー型に抜き、レーザー加工で文字を印字。キーホルダーに貼るシールを業者に作成してもらう。現在見本待ち。

夏休み中に 2 年 7 組の生徒が 2000 個のキーホルダーのシール貼り・チェーン通しの作業を行う。

○ 演劇・映像

2 年 7 組でまとめた資料をもとに、演劇部で全体の構成を作成。2 年 7 組で最終的なまとめをして、台本が完成。7 月 29 日に放映部による収録を行う予定。

2016 年 7 月 29 日（金）10:00～　埼玉県立越谷総合技術高等学校

■ 映像「オレオレ詐欺」を題材にした演劇の撮影

これまでのレポート作成や話し合い、全銀協職員や警察などの専門家の話を踏まえ、「オレオレ詐欺」を題材にシナリオを作成し、映像作品を制作することとした。この日は、演劇部・放映部の協力のもと、劇の撮影を行った。

撮影は普段演劇部が活動をしている視聴覚室で行われた。まずはリハーサルを行い、役者の動きやカメラの位置を確認した。カメラは 2 台使用し、1 台のカメラでは全体の様子や二者の会話などを撮影し、もう 1 台では、電話をする人やセリフを話す人

の表情を撮影した。

リハーサルの後、撮影を進めた。本番はリハーサルと異なり、衣装替えや効果音を入れるなどした。撮影の途中、校内放送が入らないか心配しながらも、撮影は順調に進み、最後に撮影した映像を演劇部が確認し、すべての撮影が終了した。

演劇部では、これまで映像用に演劇をした経験はないため、いつも以上に表情に気をつけて演技したとのことであった。また、劇は3つの場面に分かれていたため、撮影がスムーズに進むよう、場面の順番など工夫をした。

放映部でも、普段は他の部活やオリジナルの映像作成を行うことが多く、演劇部を撮影するのは初めてとのことであった。カメラを担当した生徒に感想を聞くと「役者の演技に合わせてカメラを動かすのが難しかった」とコメントがあった。

今後は、この日撮影した映像の編集作業（字幕やパワーポイント係が作成したデータ、たぬきのキャラクターの CG などを入れる） を行い、9 月 1 日に映像作品として完成させる予定。

劇では主に、オレオレ詐欺に騙される「母親」と電話をかける「本犯」とお金を受け取る役の「受け子」が登場。これまで生徒たちが調べた内容から、オレオレ詐欺のしくみが再現されており、詐欺の全容を客観的に見ることができる内容となった。また、劇中には生徒たちの世代も「オレオレ詐欺」に巻き込まれる可能性があることを考えさせる内容もあり、高齢者だけでなく多くの若い世代が見ることでも詐欺の防止啓発につながる映像作品に仕上がった。

〇掲示物（模造紙）の制作状況

7 月 14 日に作成した下書きから、空いた時間を使い、模造紙係が清書を進め、夏休みに入ってまもなく清書が完成した。

2016 年 10 月 29 日（土）～30 日（日） 埼玉県立越谷総合技術高等学校

■活動発表 文化祭「越総祭」での掲示物の展示

11 月 5 日、6 日の産業教育フェア、11 月 20 日の出羽ふれあいフレンドパークでの展示に先立ち、同校の文化祭にて、これまでに振り込め詐欺について調べてまとめてきた掲示物、マスコットキャラクターの展示を行った。

2016 年 11 月 5 日（土）～6 日（日） 大宮駅西口イベントスペース

■ 活動発表 埼玉県産業教育フェアでの展示・啓発グッズの配布

第 26 回埼玉県産業教育フェアで、これまでの振り込め詐欺等防止啓発活動の研究発表を行った。生徒たちは、大宮駅西口のイベントスペースにて、これまでに制作してきた掲示物の展示やグッズの配布を行った。

生徒たちは、埼玉県産業教育フェア前日まで追加の掲示物を作成したり、来場者に「どのような説明をするか」「質問をされたら何と答えるか」等様々な受け応えを考えたり、遅くまで作業をしていた。

当日は、たぬきのマスコットキャラクターがデザインされたキーホルダーやステッカー、振り込め詐欺防止啓発のメッセージが入ったカードを大宮駅西口周辺で配布した。グッズを受け取った方には、展示物も見ていってもらえるよう声がけをし、また、展示に足を止めた方には、自分たちが調べた内容を丁寧に説明し、振り込め詐欺に関する知識を楽しく学んでもらうために用意した「〇×クイズ」にも挑戦してもらった。

会場には、今回の振り込め詐欺等防止啓発活動のスローガン「金渡し　笑う悪人　泣く私」と書かれたのぼり旗も掲げられた。これも生徒主導で急遽制作したものであり、今後、越谷周辺の銀行店舗にも設置してもらえるように調整することとしている。

服飾デザイン科の生徒がデザインを担当したたぬきのマスコットキャラクターは、キーホルダーやステッカーだけでなく、服飾デザイン科の生徒により立体物にもなった。高さ1ｍほどのぬいぐるみになったマスコットキャラクターはとてもインパクトがあり、道行く人たちの注目を集めていた。このマスコットキャラクターにはまだ名前がついていないため、名前の公募も行った（→公募の結果、「さぎポン」に決定）。

埼玉県産業教育フェアの期間中、計 3 回にわたってグッズの配布を行い、一人でも多くの方が振り込め詐欺の被害にあわないよう、振り込め詐欺が自分たちにも起こりうるものという意識を持ってもらえるよう、啓発活動を行った。

2016 年 11 月 20 日（日）11:40～ 出羽地区センター・公民館

■ 活動発表 出羽ふれあいフレンドパークでの展示・啓発グッズ配布・啓発教室の開催

出羽地区センター・公民館のお祭り「出羽ふれあいフレンドパーク」において、これまでの振り込め詐欺等防止啓発活動の研究発表を行った。当日は、展示・啓発グッズの配布のほか、生徒たちによる啓発教室が開かれた。

〇振り込め詐欺等防止啓発教室

時間になると、会場には、高齢者を中心としてたくさんの方が集まりました。

まずは、生徒たちから特殊詐欺の種類や振り込め詐欺に関するクイズを行った。発表の中で、振り込め詐欺の被害の多い都道府県の 2 位が埼玉県であることが発表されると参加者からどよめきがおきた。

続いて、生徒たちがまとめたパワーポイントを映像化したものと、演劇部による振り込め詐欺に関する寸劇の動画を放映した。動画は、全銀協および越谷警察署の監修を受け、前日まで修正作業を行いました。また、発表の内容についても、放課後等の時間を使い、先生の指導を受けながら、練習をくり返した。その成果もあり、参加者は真剣に生徒たちの発表に耳を傾けている様子であった。

最後に詐欺に会わないための防止策について発表と、啓発教室を手伝ってもらった越谷警察署の職員からコメントがあり、啓発教室は終了した。参加者には、啓発グッズのキーホルダーと越谷警察署で作成した啓発グッズであるトイレットペーパーが配られた。

前日まで多くの時間をかけて準備を行った生徒たちも、たくさんの参加者を前にやや緊張した面持ちであったが、振り込め詐欺の被害や防止対策について知ってもらうことができ、これまでの研究の成果を披露することができ達成感を得た様子であった。

2016 年 12 月 13 日（火）13:00～ 越谷駅周辺

■ 越谷駅周辺での振り込み詐欺防止啓発グッズの配布活動

越谷駅前交番の職員および全銀協職員の立会のもと、越谷駅周辺にて、これまでに制作してきたグッズの配布を行った。生徒たちは、のぼり旗やマスコットキャラクターの「さぎポンを掲げながら、高齢者や家族連れの方を中心にステッカーやリーフレット等のグッズを配布して、振り込め詐欺への注意を呼びかけた。

特にマスコットキャラクターが目を引いたようで、道行く人たちが足を止めて生徒の

話を聞く様子もうかがえた。

配布後には、越谷駅前交番の職員および全銀協から活動の講評を行った。

2016 年 12 月 15 日(木)、16 日(金)、19 日(月) 越谷駅周辺の銀行店舗

■ 越谷駅周辺の銀行店舗への振り込め詐欺防止啓発グッズの掲示依頼

越谷駅周辺の銀行 10 店舗(埼玉りそな銀行越谷支店、埼玉りそな銀行北越谷支店、埼玉りそな銀行南越谷支店、栃木銀行越谷支店、栃木銀行東越谷支店、栃木銀行越谷西支店、栃木銀行蒲生支店、栃木銀行蒲生西支店、三井住友銀行越谷支店、武蔵野銀行越谷支店)を往訪し、これまでに制作してきたグッズ(のぼり旗、ステッカー、リーフレット、演劇などを収めた DVD)を渡し、掲示および店舗利用者への配布を依頼した。

2016 年 12 月 22 日(木)埼玉県立越谷総合技術高等学校

■ 全校集会における活動報告、DVD の放映および越谷警察署からの表彰

終業式の後の全校集会において、これまでの振り込め詐欺等防止啓発活動の報告を行い、全校生徒に振り込め詐欺等の防止対策を呼びかけた。また、越谷警察署から感謝状の表彰を受けた。

報告では、出羽ふれあいフレンドパークでも使った DVD を視聴したほか、寸劇や実演を交えて振り込め詐欺の手口を紹介し、クイズとその解説で手口と対策の理解を深めた。

そして、年末年始にかけて祖父母や親戚と過ごす時間があれば、啓発グッズを渡すとともに、電話を留守番電話に設定しておくことや、家族で合言葉を決めるなどの対策について話をするよう伝えられた。また、本活動のまとめのため、祖父母等に本活動や振り込め詐欺に係る理解度についてのアンケートに協力してもらうよう依頼があった。

表彰では、越谷警察署生活安全課長から感謝状の贈呈を受け、これまでの活動と本日の発表に対する謝辞と講評をいただいた。

2017 年1月～3月埼玉県立越谷総合技術高等学校

■ 学校家庭クラブでのアンケート集計

12 月 22 日の全校生徒に向けた振り込め詐欺防止啓発の講演会の際に依頼したアンケートについて、回収・集計を行い、その結果を「振り込め詐欺防止啓発新聞」としてまとめた。

アンケート結果の概要は以下のとおり。

- アンケート回収数 725 名中、415 名（54%）が啓発グッズ（シール）配布に協力してくれた。シールが貼られた場所としては、「電話（144 名）」「冷蔵庫（36 名）」「机（10 名）」が多かった。
- 約9割の人が、今まで振り込め詐欺の対策をしていなかった（対策をしていた1割の人の回答としては、「留守番電話に設定しておく」「合言葉を決める」等）。本活動の結果、303 名（41.8%）の生徒が「合言葉を決めた」と回答。また、508 名（70.1%）の生徒が振り込め詐欺の対策等について周知できたと回答。

アンケートの結果を掲載した「振り込め詐欺防止啓発新聞」（P26 参照）は、3 学期の最終登校日に全校生徒に配布された。

■ １年間のまとめ

この１年間、振り込め詐欺等防止啓発活動を中心となって行った 2 年 7 組の家庭クラブ委員２名と担任の百合川教諭に、1 年間の活動について振り返りをしていただいた。

家庭クラブ委員の２名に、活動で大変だったことを聞いてみると「振り込め詐欺について調べることから始めたものの、調べた結果をどのように活用すればよいか、どうすれば啓発活動につながるのか手探りの状態で進めていったこと」が挙がった。一つひとつの取り組みについてクラスで話し合い、授業や部活動の合間を縫ってみんなで協力したことで形にすることができたとのことであった。

また、印象的だったこととしては「大宮駅や出羽公民館まつりなどで啓発グッズの配布活動を行った際、振り込め詐欺について関心を寄せてもらったり、『詐欺に気を付けるね』などの声を掛けてもらったりするなど、活動のリアクションを直接感じることができたこと」が挙がった。活動の際に越谷総合技術高校のことを知っている地域の方に声を掛けてもらったり、制作したリーフレットやステッカーを越谷周辺の銀行で見たという報告があったなど、自分たちの活動が広がっていることを実感することができたとのことであった。

また、「自分自身もこれまで祖父母と話をする機会が少なかったが、振り込め詐欺等防止啓発活動をきっかけにコミュニケーションを取るようになり、こうした日頃からの心がけが大切だと感じた」とコメントがあった。

続いて先生に１年間の活動を振り返っていただいたところ、「振り込め詐欺の知識以外にも、調べ学習の方法やその発表の仕方など、これからの進学や就職に役立つ経験をすることが出来たと思います」と感想をいただいた。本活動の目的は「人の為の活動」だが、結果的には生徒たち自身も大きく成長できた活動になったと考えている、とのことであった。

調べ学習から始まり、掲示物や啓発グッズの作成、演劇映像の制作など、1 年間の取り組みは埼玉県立越谷総合技術高校ならではの活動となった。

また、地域の方々に対する振り込め詐欺等の防止啓発効果はもちろんのこと、数々の活動の中で、祖父母とコミュニケーションを頻繁に取ることで詐欺被害

を防ぐことができることなど、高校生だからこそ出来る取り組みがあることを生徒自身にも認識してもらうことができたと考えられる。

28 年度の取組内容（マスコットキャラクターをはじめとした啓発グッズの制作、地元地域での発表等）は今後の本取組みの参考になると考えられることから、今後の実施校にも幅広く紹介し、活動を支援していきたい。

振り込め詐欺防止啓発新聞

2-7＆家庭クラブ委員

＊標語＊　　金渡し　笑う悪人　泣く私

冬休み中に、全校の皆さん(770名)に協力していただいたアンケートの集計が出ました。全体の回収率は725名、94．2%でした。下記にまとめましたので、ご家族・知人への周知に活用してほしいと考えています。また、講習会では「劇や実演が分かりやすかった。振り込め詐欺の知識が増えて勉強になった。」という感想をみなさんから多くいただきました。1年間ご協力いただきありがとうございました。

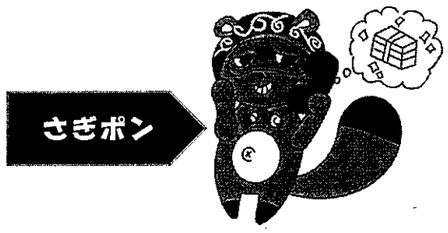
アンケートにより、

４１５名（５４％）の方がシールを配布してくださいました。

☆祖父母にどのように伝えたか、以下の問いにお答えください。

1、今回の話やグッズを渡した時に、祖父母はどのようなことをいっていましたか？

・詐欺は怖いね　→ 32名
・ありがとう　→ 52名
・グッズがすごい　→ 60名
・気を付けるね　→195名
・キャラクターがかわいい　→ 24名
・その他　→ 35名
・無記入　→ 17名　　計 415名



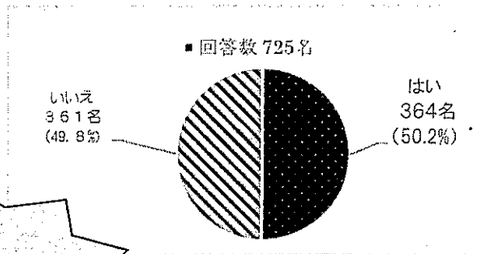
2、シール利用に快く賛成してくれましたか？

シールを張った場所

No.1
電話　１４４名

No.2
冷蔵庫　３６名

No.3
机　１０名

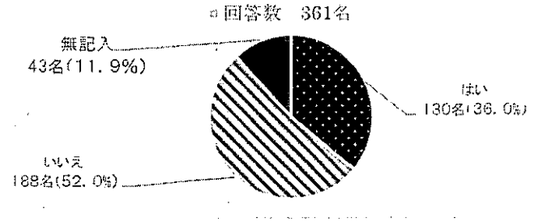


電話、冷蔵庫、机など
日常生活で目にしやすいところに
張ってくれた方が多い！

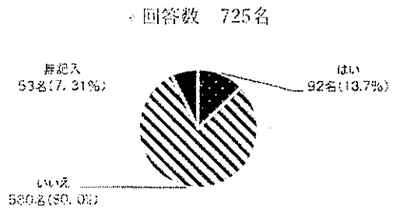
≪その他≫　タンス、玄関、カレンダー、棚、加湿器　等

※リーフレットは電話の横に置いてくれた人が多かったです。

3、祖父母に渡せなかった人（アンケート２より３６１名）は家での利用、もしくは近所の方に渡しましたか？



4、祖父母に振り込め詐欺と思われる電話がかかってきたことはありますか？



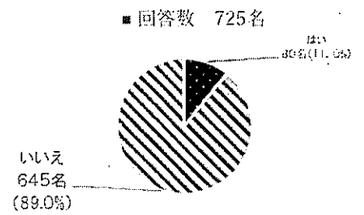
はいと答えた方の中で、
オレオレ詐欺
５２名

オレオレ詐欺が
ダントツ１位！！

≪その他≫

子供がけがをした(4名)/　還付金詐欺(6名)/ かばん詐欺(1名)/ お見合い詐欺(1名)

5、今まで振り込め詐欺の対策はやっていましたか？



グラフを見ると・・・

約９割の人が対策を
していなかった！！！

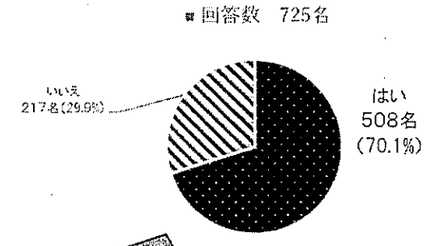
留守番電話に設定する
17名

合言葉を決める
14名

≪その他≫

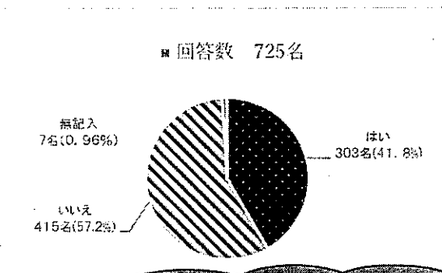
どちら様ですか？と言ってすぐ切る(3名)/電話に出ない(6名)/本人か確認する(8名)　等

6、振り込め詐欺撲滅のために、
周りの人にちゃんと周知できたと考えますか？



周知率
約７０％！！！

7、合言葉を決めましたか？



しかし、まだ約6割の人が合言葉を
決めていないと回答

今回アンケートの集計を行い、被害を受けている人の中で、詐欺の対策をしていた方は全体の約1割と少ないことが分かりました。また、対策を行っている人も少ないという結果になっています。今回の活動を通しての周知率は約70%でした。個人で周知の方法や意識は違いますが、より多くの人に正確な情報を伝えることは大切です。意識してこれからも周知していってください。さらに、約60%の人が合言葉決めていないという結果になりました。合言葉を決めることや留守番電話に設定するなどはすぐに実行しやすい対策なので、この機会にぜひ行ってみてください。

また、半数以上の方がシール、リーフレットの活用に協力して下さりました。ありがとうございました。家族間でのコミュニケーションや振り込め詐欺の知識をつけることは家族や自分自身だけでなく、地域を守ることでもあります。これからも振り込め詐欺の被害を少しでも減らしていけるように、一人ひとりが振り込め詐欺の被害の状況を受け止めて対策をし、詐欺被害を防止していきましょう。